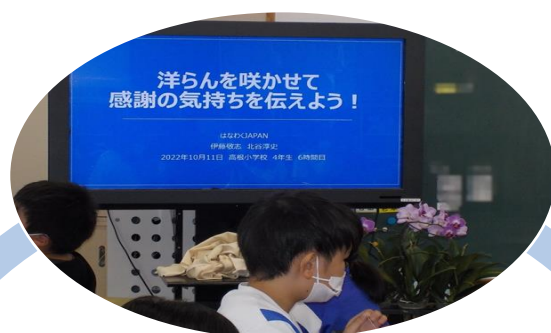


花きの活用促進のための花育体験の取組

豊橋市立高根小学校 4年生の

令和4年9月～12月にわたる花育体験記録

洋らんを咲かせて感謝の気持ちを伝えよう！



事業及びメニュー	<p>ジャパンフラワー強化プロジェクト推進事業</p> <p>花きの活用促進のための花育体験、園芸体験</p>
取組名称	<p>子ども「らん育」プロジェクト</p>
目的	<p>児童が教育の現場において地域で生産されている花や緑に触れ育てる機会をつくり、開花までの一連の栽培活動を通じて、生命の尊さを実感してもらい、つ、「やさしさや美しさ」を感じる気持ちを醸成。</p>
取組内容	<p>はなわく JAPAN（豊橋市花き園芸振興協議会の洋らん部会）が豊橋市立高根小学校に出向き、花育教室（全4回（ハウス見学1回含む））を実施</p>

花芽付きのコチョウランの苗を小学4年生一人ひとりに提供し、約3か月間（9月下旬～12月中旬）、水やりなど丁寧に管理をしつつ花を育て、咲かせることを体験。

【洋らん栽培ハウス見学の実施・9月21日：いとう園芸ハウス（伊藤敬志さん）】



ハウスの中は、温度と湿度が一定に保たれています（コチョウランが気持ちよく成長するためのエアコンもありました）。

出荷作業中の従業員さんにいろいろ質問しました。（わかりやすく答えてくれてありがとうございます！）



【第1回：10月11日】

はなわく JAPAN（豊橋市花き園芸振興協議会
洋らん部会）の伊藤さんと北谷さんが講師です。
よろしくお願いします！



ひとり1株、選びます！
鉢の色も白、茶、黒とあります。どれ
にしようかな？



豊橋の洋らん生産は日本一だって！
花を咲かせるためによく説明を聞きます。



水やりは、このくらいかな？
下から水が出なくなったら、鉢に戻します。



【第2回：11月15日】

講師の伊藤さん、北谷さんからは、「花の健康チェック、キズはないでしょうか？」
「花芽や根をよけて、はちに支柱をさします、そしてピンチで茎を支柱に留めて！」
と丁寧に教えていただきました。
さあ、もう少しで花が咲きます、それまでしっかりと世話をしてください。

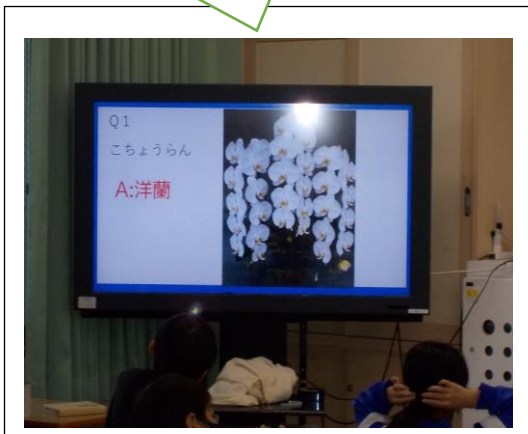
花（コチョウラン）の健康チェック！



よく見て一、^{はなめ}花芽がふくらんできたよ。
もう少しで花が咲きそうです！



講師の伊藤さん、北谷さんが作っているコチョウラン、花が大きく「^{たいりん}大輪」と呼ぶそうです。



鉢には、「いつも ありがとう」って書きました。感謝の気持ちを伝えるために！



ようこそ！
高根小学校
ホームページへ



令和4年12月1日(木)
令和4年度マラソン大会

本番に向けてがんばっています

コロナウイルス感染症対策についてのご案内
小学校休業等対応助成金等について
新型コロナワクチン小児(3回目)接種

R4年間行事予定表



豊橋市は胡蝶蘭生産量・生産額日本一

豊橋市内で胡蝶蘭を
最も盛んに生産している地域にある学校です

はなわくJAPAN
(豊橋市花き園芸協会洋らん部会)の協力を得て
コチョウランの苗を自分たちで育て、
プレゼントする活動に取り組んでいます

■ 2022/09/21 ■ 胡蝶蘭 コチョウラン

by syutan

21日(水) 4年生の総合的な活動の時間、胡蝶蘭農家の見学に、子どもたちといっしょに歩いて行きました。温室(年間通して同じ気温を保っているため、今日はとても涼しく感じました)の中で、はなわくJapanの北谷さんと伊藤さんから、胡蝶蘭栽培についての話を伺いました。子どもたちに向けて胡蝶蘭栽培について、詳しく教えていただきました。

胡蝶蘭が「高根の花」として日本全国に広く知ってもらい、自分のふるさとの自慢となることを願っています。



2022/09/21 | 4年総合 胡蝶蘭農家見学 | by syutan

21日(水)胡蝶蘭栽培農家で学校の保護者でもある「いとう園芸」さんの胡蝶蘭のハウスまで見学に行きました。はなわくJapanの伊藤さんと北谷さんから胡蝶蘭(コチヨウラン)栽培の基礎知識、大変さを詳しく教えていただきました。

ハウスの中を歩き回って見学したり、働いている方々にインタビューをしたりしました。これからの胡蝶蘭についての学習が楽しみになりました。



2022/10/14 | 4年総合 胡蝶蘭出前授業 | by syutan

10月11日に、はなわくJAPANの北谷さんと伊藤さんをお迎えして、ミニ胡蝶蘭の栽培について教えていただきました。好きな色の胡蝶蘭の苗を選び、支柱の立て方と水の管理の方法を教えていただきました。いよいよ4年生の胡蝶蘭栽培がスタートしました。きれいに咲かせることができるか、楽しみです。



鉢と花の色を選びました



支柱とクリップを正しいつけ方を教えてもらいました



水やりの注意を聞いて、しっかり準備ができました



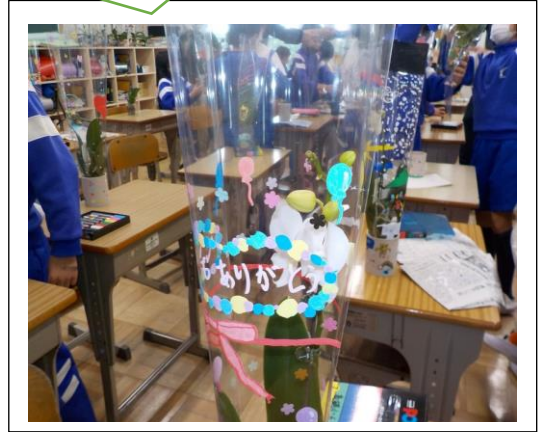
【第3回：12月12日】

コチョウランが咲いたら、日頃の感謝を込めて大切な人（保護者、家族）へプレゼントをすることで、花への関心を深めるとともに親しみを感じてもらい、コチョウランを含め花きの需要拡大への契機とします。

ラッピングフィルムに絵を描いて家族にプレゼント！



照れくさいけど、「ありがとう」って書きました！



世界に一つだけ！の大事に育てた「らん」をプレゼント！



3か月の間、みんなで心をこめて大事に「らん」を育てたよ！



【コショウランの展示・PR】

総合的な学習の時間を活用して、みんなで育てたコショウランを地域の特産品であることを広く知ってもらうため、年末から地域の郵便局、信用金庫、図書館、道の駅などに展示していただきました！

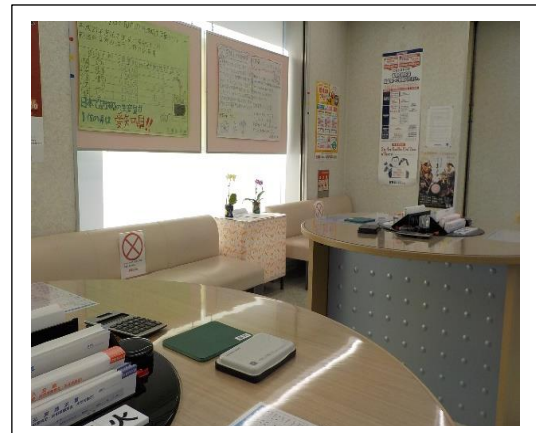
イオン豊橋南店（野依町）



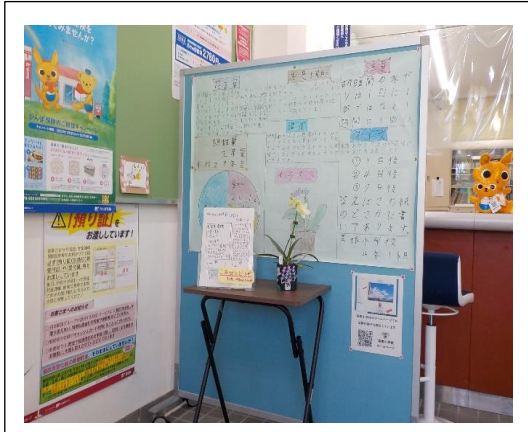
アグリパーク食彩村「花マルシェ」(東七根町：道の駅とよはし)



高豊郵便局（高塚町）



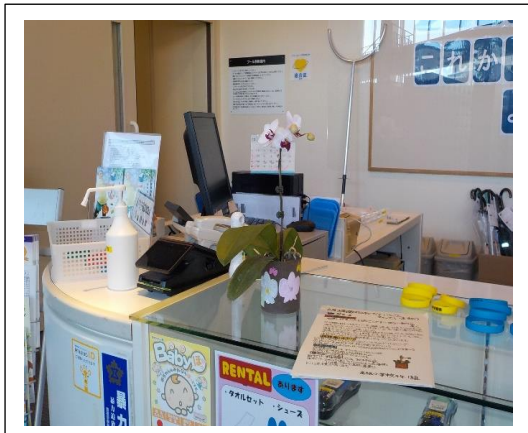
豊川信用金庫藤沢支店（柱六番町）



豊橋市大清水まなび交流館「ミナクル」（大清水町：図書館、市民館、窓口センターの複合施設）



りすば豊橋（東七根町：資源化センター余熱利用施設）



【花育体験アンケート】

花育体験終了後、4年生児童の皆さんと保護者の方にアンケートに答えてもらいました。

【4年生児童】

Q1. 「らん」の花育体験は楽しかったですか？	<input type="checkbox"/> 楽しい	<input type="checkbox"/> 楽しくない	<input type="checkbox"/> わからない		計
	30人				30人
	100.0%	0.0%	0.0%		100.0%
Q2. 今回の花育体験で、どんな気持ちになりましたか？	<input type="checkbox"/> 癒された	<input type="checkbox"/> 元気になった	<input type="checkbox"/> 緊張や不安がほぐれた	<input type="checkbox"/> 特になし	計
	5人	14人	4人	7人	30人
	16.7%	46.7%	13.3%	23.3%	100.0%
Q3. 自分で大切に育てた「らん」の花を家族に贈ったときの気持ちは？	<input type="checkbox"/> 感謝の気持ち	<input type="checkbox"/> 一つの事をやり遂げた気持ち	<input type="checkbox"/> 特になし		計
	22人	6人	2人		30人
	73.3%	20.0%	6.7%		100.0%
Q4. またやりたいですか？	<input type="checkbox"/> やりたい	<input type="checkbox"/> やりたくない	<input type="checkbox"/> 分からない		計
	29人		1人		30人
	96.7%	0.0%	3.3%		100.0%

アンケート結果分析

○花育体験は全ての児童が楽しいと回答（100%）。

花育体験を通して「元気になった（46.7%）」「癒された（16.7%）」「緊張や不安がほぐれた（13.3%）」と回答しており、花（植物）を育てる過程において児童に与える癒しの効果、情緒面で大きな影響があったことが伺えます。

○また、自分自身で大切に育てた花を家族に贈る時には「感謝の気持ち（73.3%）」を込めており、花育の体験により優しさや思いやりの気持ちが一層醸成されるとともに、「一つの事をやり遂げた気持ち（20.0%）」から達成感も得られたようです。

○今回の花育体験を契機に殆どの児童が、「またやりたい（96.7%）」と回答、花（植物）を自分で育てることへのやりがいを感じ取れ、今後、花きの需要拡大に貢献することが期待されます。

【保護者】

Q1. 花育体験後、ご家庭で花や緑に対する心の変化がありましたか？（複数回答も可）	□花や緑が身近にあると癒しや、部屋の雰囲気明るくなったと感じる。	□アレンジや生け花を始めたいと思う。「始めた」「増えた」	□ガーデニングを始めたい。「始めた」「増えた」	□生花店や園芸店に行く機会を増やしたい。「増えた」	□お祝いなどの贈り物に花や緑を使いたい。「使った」「もっと使いたい」	□これまでと、あまり変わらない。	計
	21人		3人	7人	12人	6人	49人
	42.9%	0.0%	6.1%	14.3%	24.5%	12.2%	100.0%
Q2. 花育体験の前と後で、ご家庭ではどれくらいの花や緑を購入していますか？	花き購入者数（購入頻度）	花育体験前		花育体験後 （花育体験終了2か月後）			
		8人（1～4回程度／月）		9人（1～4回程度／月）			
<p>アンケート結果分析</p> <p>○花育体験後の心の変化では「癒しや、部屋の雰囲気が明るくなったと感じる。」家庭が最も多く、次いで「贈り物に花や緑を使いたい」、「生花店や園芸店に行く機会を増やしたい。」と続き、花・緑に対する関心が深まった状況がみられます。</p> <p>また、生花店に勤めている保護者からは、子どもたちに花と緑に触れる機会を提供してくれて嬉しく思いますとの感想も寄せられています。</p> <p>○花育体験前後の購入状況では、全体平均では月当たりの平均回数は横ばい、金額はやや減少しているものの、花育体験前と後では花きの購入者数は伸びており（8人→9人）、花育体験を契機として花きの購入に貢献できたことが伺えます。</p>							

